

新潟県柏崎市 有限会社山波農場

代表取締役：^{やまなみ}山波 ^{つよし}剛 氏
作付面積：106.3ha（水稲103.3ha、そば2.0ha、
野菜1.0ha）



<取組概要>

代表・剛氏の父が1985年に民間企業を退職して専業農家になった後、剛氏の就農を契機に92年法人化。地域の農地を守るという理念のもと、山間地で水稲を中心に経営を営み、高い生産技術や長年にわたる地域貢献活動により地域から多くの信頼を得た結果、集落の約7割の農地集約を実現。

2011年に剛氏が代表に就任後、独自の人材育成プログラム「作業別責任者制度」を導入。稲作の一連の作業を23工程に分けてそれぞれに責任者を設置。入社2年目から責任者に登用し、作業の段取りや人員配置、資材・機械の使用に関する計画の立案と責任を持たせる仕組みを確立。

定期的な社員との面談を通じて業績評価を実施。作業別責任者としての評価や技術、知識、協調性などを評価するとともに、代表から見た社員の長所や能力を發揮すべきことなどを互いに納得するまで話し合い、従業員のモチベーション向上とレベルアップを実現。

地権者の同意を得た上で、畔抜きによるほ場の大区画化を自社で施工し、作業の効率化とコスト低減を実施。水稲の生育状況をデータ化し、その結果を基に肥培管理を徹底することで、肥料・農薬の5割減栽培で単収540kg/10aを維持するなど、高い技術力と作業性を追求した経営改善を実践。

自社所有の重機を活用した冬場の除雪作業による中山間地域における年間雇用の確立をはじめ、農道や水路、農地の保全活動を請け負うなど、地域の環境保全や生産基盤の下支えにも大きく貢献。